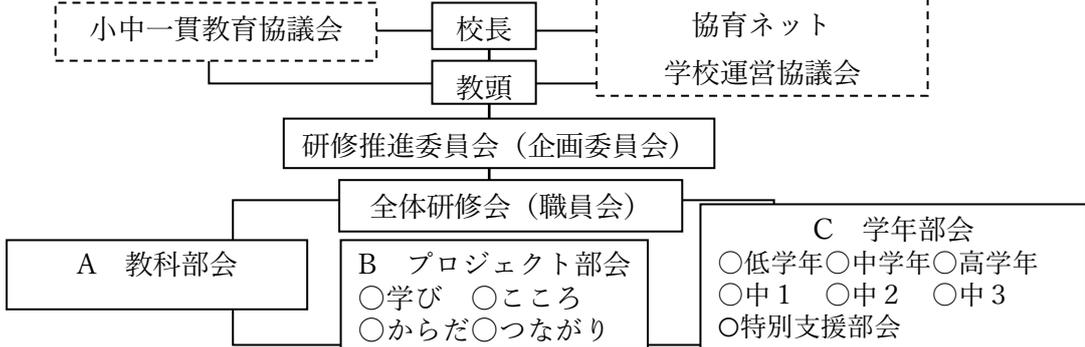


# 令和2年度 研究推進計画

岩国市立東小学校

研究主題	<p>キャリア教育を柱とした小中一貫教育の推進 ～ 「12のキーワード」に示す資質・能力の育成をふまえた授業づくり ～</p>
主題設定の理由及び研究仮説	<p>岩国市では、小学校と中学校の義務教育9年間を通して継続的で一貫性のある教育を行う「小中一貫教育」が本年度からスタートする。本校は今年度、施設一体型小中一貫校として開校するとともに、装港小学校、小瀬小学校とは施設分離型の小中一貫教育を押し進めていく。また、令和元年度から2年間、「岩国市小中一貫教育に係る確かな学力推進研究事業」の指定を受け、東中学校区4校で「小中一貫教育」の特性を生かした学力向上に向けた取組について、実践研究を行っているところである。</p> <p>東中学校区では、「ふるさとを愛し、ふるさとの人々からも愛される子どもたちの育成」を目標とし、その大きな柱としてキャリア教育を掲げている。キャリア教育で育成すべき4つの基礎的・汎用的能力をもとに、「12のキーワード」に示す資質能力の育成を設定し、9年間の系統的な指導を行っていく。</p> <p>本中学校区では令和元年度より9年間の学びのつながりを生かすとともに、主にキャリア教育の視点を取り入れた授業づくりについて研究を行ってきた。これらの視点を大切にした授業を行うことにより、過去に学んだことを生かしたり、将来学ぶことに目を向けたりするなど、児童がこれまで以上に主体的に課題に取り組む姿が見られるようになってきた。</p> <p>一方、「12のキーワード」に示す資質・能力について、教師の捉えに曖昧な部分があり、授業の中で見られる児童の具体的な姿をイメージすることが困難で、十分な評価やそれに基づく指導ができていない面があった。また、各教科等の授業の目標とキャリア教育とのつながりが曖昧で、結果的に授業の狙いが曖昧になってしまう場面も見られた。</p> <p>以上のことから、今年度の研究主題を「キャリア教育を柱とした小中一貫教育の推進」として、教科の特性を生かしたうえでキャリア教育の「12のキーワード」に示す資質能力を授業でどのように育成していくかについて研究を深めていきたい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〈研究仮説〉</p> <p>各教科の中で小中9年間のつながりに目を向け、既習の学習内容とのつながりを明らかにし、学びに対する見通しをもたせる授業を行うこと、その授業のねらいにせまるための思考や活動の活性化につながる「12のキーワード」に示す資質能力の育成を目指した指導を行うことにより、教育目標の実現につながるキャリア発達を促すことができるであろう。</p> </div>
研究の進め方・研修計画	<p>1 研究の進め方 研究主題解明のための日常的な取組において、共通実践や比較実践がしやすい同学年部を母体として研究を進め、年間に一人1回以上の授業公開を行う。「小中一貫に係る確かな学力推進研究事業」に関する取組と研究発表会（公開授業、取組発表、講演等）を開催する。</p> <p>2 研修計画 4～5月 研究主題決定、研究推進計画立案、研修年間計画作成 6～12月 研究主題解明のための研究実践、研究発表会、「家庭学習の手引き」や家庭学習パワーアップ週間を活用した学習習慣の形成、授業研究や授業公開 1～3月 「研修のまとめ」作成、研究の反省</p>
研究組織	 <pre> graph TD     A[小中一貫教育協議会] --- B[校長]     C[協育ネット 学校運営協議会] --- B     B --- D[教頭]     D --- E[研修推進委員会 (企画委員会)]     E --- F[A 教科部会]     E --- G[B プロジェクト部会 ○学び ○ところ ○からだ○つながり]     E --- H[C 学年部会 ○低学年○中学年○高学年 ○中1 ○中2 ○中3 ○特別支援部会]     </pre>

